

# エリアとくらし

第 51 号 2025 年 11 月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

TEL：095-882-7585

<http://www.togitsu-ikuseikai.jp>

## ながさきピース文化祭 2025 in 時津茶屋



やさしいきもちにまた会えたらいいな



マイハッピーホームタウン

今年は、第 40 回国民文化祭と、第 25 回全国障害者芸術・文化祭が長崎での統一開催。10/25(土)～26(日) 時津町茶屋(本陣)に於いて、音楽でつながる「ミニコンサート♪」が開催され、同時に障害者団体の作品展示があり、エリア21もみんなの作品を出品しました！

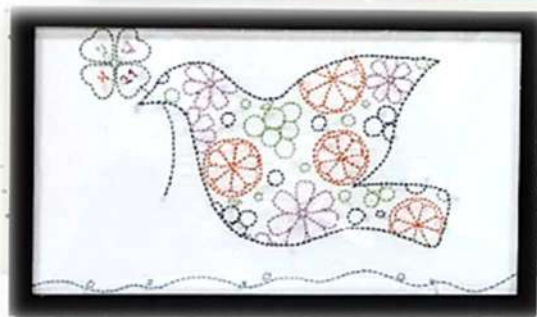
エリア21では、平和をテーマにみんなで制作した絵画の作品 2 点に「マイハッピーホームタウン」、「やさしいきもちにまた会えたらいいな」とタイトルを付け、貼り絵や絵の具で絵を描いて全員で仕上げました。刺し子作品は、平和の鳩の中に時津町の名産品を入れたものと、みんなで手をつないだイラストを、刺し子が得意な利用者さんが頑張って縫い、2 点を出品しました。(次ページへ続く)

「やさしいきもちにまた会えたらいいな」は被爆 80 周年の今年、平和についてじっくり考える機会でもあり、平和を願う気持ちのメッセージカードで鳩の羽を表現しています。実はこのカード、紙帽子づくりの端切れです。

「マイハッピーホームタウン」は利用者みんなの家をそれぞれ描き、貼り絵にして、ペットや、好きな動物などもあちこちに見える、楽しい街を作りました。「あなたにあえてよかった」では、みなさんとの出会いのおかげで今があることに感謝の気持ちを込めて、手をつないでひとつになった人の輪のデザインになりました。「時津の実り・平和の鳩」は鳩の中に、みかん、ぶどう、コスモス…時津町の名産品や町の花が、美しいレイアウトで一枚の絵画作品のようにになりました。



刺し子作品  
←「あなたあえてよかった」  
「時津の実り・平和の鳩」→



当日は、作品展示のほかに、地元の方のクラシックやコーラス、三味線などのミニコンサートも催され、昔ながらの面影が残る中で贅沢な時間が過ごせました。たくさんの方々に観ていただき、ありがとうございました。

11/4(火)～11/7(金)イオン時津店にて催された「第2回かっちえて！！オリジナルアート作品展」にも今回の作品を出品しました！！（池田 山口）



イオン時津店に見に行ったよ♪

## 令和7年度定期総会

6月28日(土)に時津町手をつなぐ育成会定期総会が北部コミュニティセンターで開催されました。会員のみなさま、また、時津町の山上町長をはじめ多くの来賓の方々も出席されました。

本人さんの「開会宣言」から始まり、理事長の挨拶、山上町長や来賓のみなさま方からご挨拶や激励のお言葉などをいただきました。

総会では、令和7年度運営方針や事業計画では経理業務の改善や組織改革への取り組み、レストラン PR や農園・授産事業の拡大による事業収益の向上、自治会や行政、特別支援学校や他育成会との連携による地域ネットワークの強化を目指すことなどが盛り込まれました。また、令和6年度の収支報告、令和7年度の収支予算の説明があり、レストラン・弁当事業はおおむね順調、エリア21で新規事業(アルミ缶リサイクル)の開始、農園作業の収穫物をレストラン・弁当事業へ食材提供などが紹介されました。グループホーム・ケアホームについては、利用者だけでなく保護者へのケアも念頭に置いた支援を実施しているといった、職員の取り組みも報告されました。

最後に、職員紹介と本人さんの自己紹介があり、今年度新しく入った職員、会員さんも元気に挨拶をしました。みなさん多数のご参加まことにありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。(城田)



# ながさき育成会フォーラム 9/5(金)長崎県総合福祉センター

今回初めてながさき育成会フォーラムに参加させていただきました。研修では、「テーマⅠ 育成会活動の再活性化～県市町育成会の会員減少対策～」での演題で講演が行われました。まずは、講師の全国手をつなぐ育成会連合会会長 佐々木 桃子氏より、育成会の始まりから、育成会の働きかけで実現したこと、育成会に求められていること、役割や活動などについて、ご自身の体験や実例など交えながらお話していただきました。

そして今回のメインテーマである育成会活動の再活性化、会員減少対策について言及されました。コロナ禍以降、会員数の減少が生じ、これから会員増員に向け活動を行う必要があるとのことでした。結論として、知っていること・やっていることを若い世代に伝えることが重要であり、交流を通じて人伝いの情報が有効であると仰っていました。

今の時代はインターネット社会で、SNS など情報量が多い中から自身で正確な情報を探し出すことが必要になってきますが、活動のツールとして活用できるのも事実であると言えます。例えば、時津町手をつなぐ育成会の総会や家族の集いなど、会員がどうしても出席できない場合に、X(旧ツイッター)ライブ、インスタライブやZOOM など、ライブ配信アプリを利用することで、リアルタイムに視聴ができたりもします。また、録画された動画があれば好きな時間に視聴することもできます。アプリの設定の他にも様々な課題はありますが、使い方によってはとても便利なツールなので、今後積極的な取り組みを行えたらと思いました。

講演後の「テーマⅡ 意見交換会」では、各育成会での活動でやってよかったこと、これからやりたいことを5名ずつの班に分かれ話し合いました。やってよかったことでは、長崎市育成会のキャラバン隊(よかよか隊)や出前講座、勉強会、関係する方々との交流や連携などの意見が上がっていました。これからやってみたいことでは、SNS の活用、家族で楽しむ時間を作る、ポスター・パンフレットの作成、行政に対して不便な点を訴えるなど様々な意見を出し合いました。とても有意義な研修会で、他の育成会の考えや活動を共有することができました。今後、育成会としての視点も持って支援を行い、学んだことを活かし発信していきたいと思えます。(淵瀬)

## 令和7年度 障害者週間 出店決定!!

今年も時津町役場で展示・販売を行うことになりました。しかも、今年の販売は、12月3日(水)・12月10日(水)の2日間です!!自主製品をはじめ、寿まん天・れもん・みかんなど販売します。時間は10時半から13時です。ぜひ、ご来店ください(\*- -)(\*\_)ペコリ(西川)



## エリア農園 サツマイモ収穫

10月24日にエリア農園のサツマイモ収穫を行いました。今年の夏はすごく暑かったですし、雨もあまり降らなかったのが「お芋さん達はちゃんと育てられているのかなあ?…」とちょっと心配していましたが、ちゃんと育ててくれました~!(\*^\*)

が、大きさ的には例年より小さめのお芋が多い気が…。毎年やっているように、5~6人のグループ毎にサツマイモを掘っていきます。ふだん外作業はあまり好きじゃない人でも芋掘りは別のように、みなさん楽しそうにどんどん掘ってっていました。みなさんお疲れさまでした~(^)/(古本)



# アルミ缶リサイクル作業 続編!!

エリアとくらそう第50号で紹介した新たな作業、『アルミ缶リサイクル』の近況について報告させていただきます。とその前に、いつもアルミ缶収集のご協力、誠にありがとうございます。おかげさまで日々たくさんのアルミ缶が集まり、利用者さんも充実した作業に取り組むことができます。本当に感謝です。

さて、9月末現在、作業がスタートした4月から9月末までの6ヶ月間で集まったアルミ缶の総重量は、なんと 186Kg でした！パチパチパチパチ \ (^o^)/ 月平均の重量は 31kg の計算となります。ちなみに 186Kg とは、350ml のアルミ缶の約 12,400 本の換算となります！！逆にピンとこないですね(汗)



混じていたスチール缶やピンなどを仕分ける吉田孟徳さん



息がぴったり合って作業を行う吉田さんと川口さん

収集されるアルミ缶の重量は右肩上がりなので、利用者さんもたくさん集まるのが楽しみようです！

今年の夏も酷暑が続き、お酒や炭酸飲料などの消費が多かったのかなと思います。これから気温も下がり秋から冬に向かいますが、寒さにも負けず是非たくさん飲んでいただき(無理なく)、アルミ缶収集のご協力の程、お願い申し上げます！！

既に潰れたアルミ缶や、缶詰のフタ、栄養ドリンクのフタ等、アルミであれば大歓迎です！スチール缶が混じったとしても、熟練した利用者さんが仕分け作業も行っております(^)！ よろしくお願いたします！！(涙瀬)

## 封入作業 2 パターン イナマツ電器さん



イナマツ電器さんより久しぶりにダイレクトメールの作業をいただきました。毎月取り組んでいるマンスリーフェアチラシの作業と違い、チラシの三つ折りや六つ折りの工程があり、折ったチラシを重ねて半透明の袋に封入し、封を閉じるという作業になります。また、マンスリーフェアチラシの作業と比べると納期も限られているため、利用者のみなさん総掛かりで、それぞれの工程に分かれ集中して作業に取り組んでいました。



年末に近づき今度はカレンダー巻きの作業もいただきました。まずカレンダーをくるくると巻きます。次に、巻いたカレンダーを縦長のビニール袋に入れ「イナマツ電器」さんの文字がちゃんと見えるようになっているかを確認する、という作業です。最初は巻いたカレンダーをビニール袋にうまく入れることができなかったのですが、慣れてくると利用者のみなさんもスムーズに取り組むことができました。イナマツ電器さん、いつもありがとうございます。(坪田)

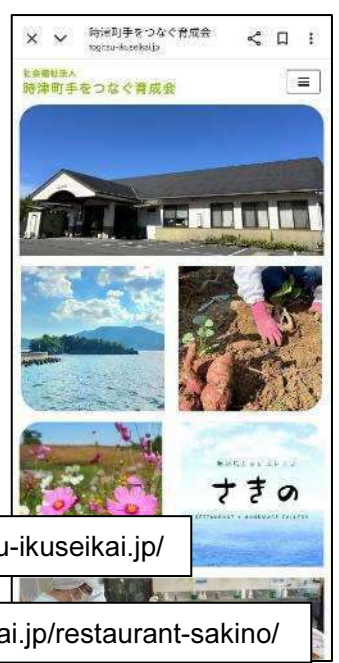
# レストラン「さきの」看板!! リニューアルしました



レストラン「さきの」も19年目を迎え、長く営業させていただいてきました。決して若くはない職員で、時代に合わせどうにかレストランのインスタグラムを始めたものの、今度はHP(ホームページ)の形態の古さも気になって、いろんなリニューアルが必要だとの声が出てきました。

まずは看板から取り掛かり、9月半ばより新看板と入れ替えています! 長与方面からの看板も新設し、お客様にも「わかりやすくなった」とアンケートでもご好評いただいています。実はこの看板! 支援員の山口さんのデザインなんです~☆  
新しくするとはいえ、デザイン会社に頼むような余裕もなく、デザイン科で学ばれたことのある山口さんにお願ひし、爽やかに素敵な看板が出来上がりました☆

# さきのホームページもリニューアル! インスタも!



レストラン「さきの」に来られる一般のお客様にも検索しやすいように、スマホで見られることを意識したレイアウトにリニューアルし、見やすくなっていると思います。インスタグラムでは、レストランだけでなく、配達弁当の月メニューやギャラリー、季節の風景などもアップして、すぐ新しい情報に触れていただけます。ぜひ、フォローを♡ みなさんも新しい看板とホームページ、そしてインスタグラムを見てみてくださいね~(布志木)

## ☆新メニュー誕生☆

11月1日より一日5食限定で、新メニュー四季彩膳(しきさいぜん ¥1700 税込)が仲間入りしました。春夏秋冬、それぞれの季節のお勧めをメインにしたメニューとなっています。

まず、四季彩膳のデビューを飾るのが冬の膳で、メインは寒い季節にピッタリの具雑煮です。料理長自慢の抜群お出汁に、贅沢な具材がたくさん入っています。サイドメニューは、いなり寿司・小鉢・寿まん天、アフタードリンクはコーヒーor紅茶からお選びいただけます。

寿まん天は袋入りなので、お腹いっぱい食べきれない場合はお持ち帰りもできます。是非、ご賞味下さい。来年3月からの春の膳もお楽しみに!

みなさんのご来店、お待ちしております。(入口)



# あいサポート運動&相談員研修

長崎県手をつなぐ育成会主催の障害者相談員研修に合わせ、鳥取県で平成29年にスタートし、現在全国70万人に広がっているという「あいサポート運動」について知る研修が、7月25日に長崎原爆資料館ホールで開催され、相談員である理事長と参加させてもらいました。実際に鳥取県職員の方が2名来られ、熱意のある話を伺って大変感銘を受け、私たちも何かを取り組むべきなのではという、気持ちまで動かされる内容でした。



## 【あいサポート運動とは？】

さまざまな障害のある方の特性を理解し、障がいのある方に温かく接するとともに障がいのある方が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)を県民とともに作る運動。2009年11月に鳥取県で取り組みスタート。学校・自治体だけでなく全国の企業・団体にも広がっている。

## 【あいサポーターとは？】

障害について、①その内容や特性 ②障がいのある方が日常困っていること ③ちょっとした手助けや配慮の方法 の三つを知ってもらい、行動として実践していただく方。

この運動を知ってもらうことがゴールではなく、地域で実践されること、共生社会を実現することがゴール。そのために何が必要か。個々人に必要な支援の充実はもちろん、障害のあるなしに関わらず、みんなが集え、一緒に楽しめる機会を提供すること。それが今、行政にも求められている。鳥取県の取り組みだけではなく全国へ広げていきたい。実際に取り組む団体には鳥取県もサポートします、冊子なども資料データも無料で使用できます、というお話でした。

まず、鳥取県職員が来られ、県内にとどまらずこの運動を広げられていることに感心しました。研修のためのハンドブック(一般向け・子供向け)も大変わかりやすく、どなたでも理解できるよう工夫されており、すべての方に読んでもらいたいと思いました。鳥取県では小学生などの学習会や障害者施設でスポーツ交流などに取り組まれており、このような運動がまだ九州には広がっていないことも大変残念に思いました。

グループでの話し合いでは、このあいサポート運動をきっかけに障害のある方が年を取っても暮らしやすい仕組みに、社会全体が変わっていくことまでを望みたいとまとめられました。まずはエリア21でもそれぞれがちょっとした思いやりや手助けを互いにできるような施設になればと思いました。ぜひみなさまにも「あいサポート運動」のことを知ってもらえたらと思います！理事長も時津でそのような取り組みができたらと、研修後その足で役場までお話しに行かれ、そのお姿に福祉に対する思いが感じられ、私自身も福祉の場で働く者としての責務を感じた一日となりました。(布志木)



↑ 研修で配布される冊子  
一般向け(左)と小学校向け(右)

小学生向けでは  
障害特性の紹介の  
他、手助けや配慮  
についてみんなで  
考えて、  
書き込めるよう  
になっています↓



↑ 一般向けでは障害特性、  
困りごとの実例、権利擁護  
についても、わかりやすく  
説明されています

